

# 安全性の比較分析

〇〇〇〇株式会社 第3期

比較産業分類 大分類 : サービス業

【区分】 中分類産業 : その他の事業サービス業  
 従業員規模 : 6人~20人  
 売上高規模 : 1億円超~5億円  
 資本金規模 : 1千万円以下  
 設立年 : 昭和60年~平成6年

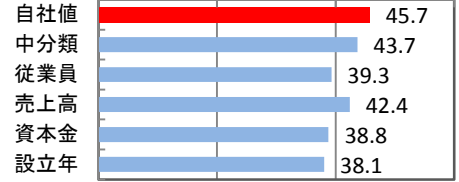
評価基準	評価点数	
【自己資本比率】	4	
60%以上		5点
60%未満~40%以上		4点
40%未満~20%以上		3点
20%未満~5%以上		2点
5%未満		1点

※評価基準に関わらず流動比率が100%以下もしくは、固定長期適合率が100%以上の場合は1点

安  
全  
性

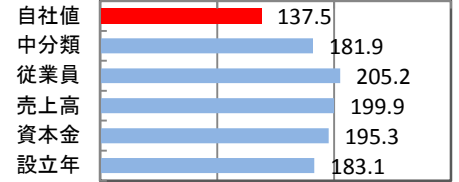
## 資本安定度

①自己資本比率	高い方がよい	分析値
自己資本÷総資本×100		45.7%
資本構成から企業の安全性をみる指標。企業が使用する総資本のうち、自己資本(返済が不要であるお金)の占める割合がどの程度あるかを示す。企業の基礎体力を示す指標。		
	目標値	
		60%以上



## 短期資金余裕

②流動比率	高い方がよい	分析値
流動資産÷流動負債×100		137.5%
現金及び短期的(1年以内)に換金できると思われる資産で短期的に支払う負債の支払い能力を示す指標である。流動負債の何倍の流動資産を持っているのかを表す。		
	目標値	
		180%以上



## 調達運用適合性

③固定長期適合率	低い方がよい	分析値
固定資産÷(自己資本+固定負債)×100		59.0%
長期に使える資金(自己資本+長期借入金等の固定負債)のうち、どれだけ固定資産に運用しているかを示す指標。割合が低いほど、流動的な資金があることを表す。		
	目標値	
		60%以下

